

長谷川 博一 プロフィール

1959年5月10日愛知県生まれ。1988年名古屋大学大学院教育学研究科（心理学専攻）博士後期課程中途退学。大学・大学院での25年間の研究・教育経験を経て、2013年ころぎふ臨床心理センターを開設。心理療法・心理アセスメント・家族関係・自殺/自傷・児童虐待・DV・いじめ・発達障がい・犯罪心理などを専門としており、数々の刑事事件の心理鑑定も手掛けている。

女優 東ちづるや作家 柳美里等の著名人のカウンセリングも手掛けている。2011年5月のNHKスペシャル「虐待カウンセリング」、2011年12月のNHKクローズアップ現代「やさしい虐待～良い子の異変の陰で～」、2014年11月TBSのNスタ特別編「なぜ母は殺人者に」謎に迫る真実のドラマ・防げ虐待の連鎖 - で取り上げられるなど、マスコミを通じた情報発信も行っている。



著書

『子どもたちの「かすれた声」 - スクールカウンセラーが読み解く「キレル」深層心理 - 』（日本評論社、1998年）

『こんにちは、メンタルフレンド - ひきこもりの子どもの心を開き、家族をも開く支援システム - 』（日本評論社、2000年）

『しつけ - 親子がしあわせになるために - 』（樹花舎、2002年）

『<私>はなぜカウンセリングを受けたのか』（東ちづるとの共著、マガジンハウス、2002年）

『たすけて！ 私は子どもを虐待したくない』（径書房、2003年）

『新版 子どもたちのかすれた声 - キレル深層心理を読み解く - 』（樹花舎、2005年）

『あなたはダメな子じゃない - 「私の子育て失敗かも……」というお母さんのためのマニュアル - 』（主婦の友社、2006年）

『わが子の気持ちがわからない - 思春期の子育て - 』（PHP文庫、2008年）

『親と子の気持ちを結ぶ 魔法のしつけ』（PHP文庫、2008年）

『ダメな子なんていません - ダメな親もいません - 』（新潮文庫、2009年）

『ファミリー・シークレット』（柳美里著、講談社、2010年） *長谷川博一との虐待カウンセリングを記す。

『お母さん、「あなたのために」と言わないで』（草思社、2011年）

『殺人者はいかに誕生したか』（新潮社、2011年）

『虐待する私を誰か止めて！』（光文社知恵の森文庫、2012年）

『お母さんはしつけをしなないで』（草思社文庫、2012年）

他、多数